

2021 年度  
事業計画書

自 2021 年 4月 1日  
至 2022 年 3月 31日

公益財団法人しまね海洋館

---

## I 管理・運営計画の部

---

### 1. はじめに

当法人は、2000年（平成12年）に島根県が設置した、島根県立しまね海洋館の管理運営を指定管理者制度の下で、健全経営を基本に運営をしております。

経営の基本的な方針として、①シロイルカやペンギン、サメ水槽など大小約60槽ある水槽に、約400種10,000点の生物を、創意工夫を凝らした魅力あふれる飼育展示や生物の繁殖に努めること。②当館の自慢できる飼育展示を全国や世界に発信し、集客につなげる積極的な営業活動の展開に努めること。③多くの来館者へ心のこもった「おもてなし」の接客とリピーターの確保を図ることなど、引き続き水族館経営の3原則である【展示】【営業】【接客】の積極的な展開をはかる理念のもとに運営をしております。

一方、施設設備は経年劣化が進み、合わせて水族館独特の大量の海水を使用する施設であり、その劣化の進行は想像を絶するものがあり、施設の健全な維持管理にも多くの労力や費用を投資しております。

こうした諸情勢を鑑みて、設置者である島根県において、2013年（平成25年）度から施設の健全な保持保全と修繕費の平準化を図って行くため、今後20年間で約60億円を投資する「長寿命化計画」が策定され、現在順調に施設の改修が進行中であります。

本館2階アトリウム天井が「特定天井（脱落防止対策が必要）」に指定されたことから、2020年1月から2021年7月中旬（ゴールデンウィーク中は除く）まで、営業を続けながら改修工事が予定されており、お客様、職員、生物の安全を守りながら工事を実施しております。

更に、海水取水の原点である、波子漁港内の海水取水施設の「取水口の堆砂除去」や「ポンプなどの機器の更新」など根本的な対策に迫られており、水族館の動脈である取水の安定確保に向けて取り組んでまいります。

また、2020年度は「新型コロナウイルス感染症」の拡大に伴い、2020年4月10日からゴールデンウィークを含んだ5月31日までの52日間の休館対応により入館者数の激減となったことから、2021年度は「新型コロナウイルス感染症」のワクチン接種の普及に期待し、お客様には不安無く楽しんでいただけるよう、また職員も安心して業務ができるよう感染予防対策を十分に行い、お客様や職員・飼育生物の安心安全を第一に臨機応変な対応に努めてまいります。

こうした内外の厳しい状況をふまえ、水族館の運営3原則を原点に置き、健全経営に邁進し新型コロナウイルス感染症の感染状況に対し、臨機応変に対応してまいります。

## 2. 年間入館者について

運営の要であります入館者につきましては、2021年2月末現在で、185,057人と低迷しており、前年比55.20%であり、2020年度の目標入館者数343,000人を大きく下回る事となります。

現状では「新型コロナウイルス感染症」の動向はつかめず、先の見通せない中でありますが、飼育管理費や人件費、光熱水費等のランニングコストは欠かせないものであり、2021年度の事業計画に対する入館者目標を2020年度同様の343,000人と設定しました。

2020年度においては、「新型コロナウイルス感染症」の影響によりゴールデンウィークを含む期間において52日間（4/10～5/31）の休館を余儀なくされたことを含め、年間を通し人の移動の減少が顕著となり、想定外の事態となりました。

また、2020年度にオープンした「四国水族館」は、コロナ禍の中でも65万人以上を集客しており、アフターコロナにおいても当館の集客にマイナスの影響を及ぼすことは明らかであり、2021年度においても「新型コロナウイルス感染症」による移動の自粛及び、「四国水族館」の当館に対するマイナス面の影響は大きいと想定されます。

しかし、ワクチン接種の普及により、GOTOキャンペーンの再開や、各自治体における観光に関する助成等により、人の移動の活発化を期待、アフターコロナを想定し準備を進め、期を逃さないよう集客を行うための事業計画・予算案を策定し集客に努めてまいります。

（入館者予測） 有料・無料を含めた入館者予測の数字は表のとおりとなっています。

区 分	2017年度 (H29) 実績	2018年度 (H30) 実績	2019年度 (R1) 実績	2020年度 (R2) 見込み	2021年度 (R3) 見込み
総入館者数 (対前年比)	288,357人 (80.5%)	333,638人 (114.4%)	346,004人 (103.7%)	200,000人 (57.8%)	<b>343,000人</b> (171.5%)
有料入館者 (対前年比)	220,259人 (79.9%)	253,571人 (115.1%)	269,563人 (106.3%)	157,200人 (58.3%)	<b>264,110人</b> (168.0%)
無料入館者 (対前年比)	68,098人 (82.9%)	80,067人 (117.5%)	76,441人 (95.5%)	42,800人 (56.0%)	<b>78,890人</b> (184.3%)

## 3. 開館計画

### (1) 開館日

2021年度開館予定日数：324日 ※条例上は318日

① 条例で定められた休館日 については記載のとおりとなっておりますが、②に記載の6日間につきましては、来館者サービスのため開館いたします。

- ・ 4/30～5/2、7/21～8/31、12/28～12/30、1/2、1/3 を除く火曜日。  
(火曜日が祝日の場合は、翌平日)
- ・ 12月31日、1月1日

② 条例で定められた休館日のうち、下記の計6日間来館者サービスの為に開館します。

- ・ 2021年4月6日、12月28日、12月31日
- ・ 2022年1月1日、1月4日、3月29日

## (2) 開館時間

### ① 条例で定められた開館時間

- ・通常期（4/1～7/19、9/1～3/31）：9：00～17：00
- ・夏休み期間（7/20～8/31）：9：00～18：00

② 上記にかかわらず、ゴールデンウィーク、夏休み期間など繁忙期は、入館者の状況を見ながら開館時間の繰り上げ閉館時間の延長を行います。

## 4. 職員体制

《2021 年度職員数》 につきましては、館長以下 48 名体制で運営してまいります。

区 分	正 職 員		契約職員	臨時職員	計	備 考
	技術職	事務職				
館 長		1 名			1 名	常務理事兼務
経 営 課		6 名	11 名		17 名	
海獣展示課	7 名		8 名		15 名	再任用 1 名含
魚類展示課	6 名		5 名	2 名	13 名	障がい者雇用 1 名 及び再任用 1 名含
設備管理課	2 名				2 名	
計	15 名	7 名	24 名	2 名	48 名	

## 5. 職員採用計画

2020 年度において経営課の欠員補充及び体制強化を図るべく 1 名の採用を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い採用試験実施を見送ることとなり、2021 年度には、新型コロナウイルス感染症の終息状況を考慮し、タイミングをみて採用試験を実施したいと考えております。

2021 年 3 月 1 日より「障がい者法定雇用率」が 2.2%から 2.3%への引き上げに伴い、当法人においても 1 人以上の障がい者の雇用義務が発生することから、2021 年 4 月 1 日より 1 名を雇用いたします。

2020 年度末には、経営課 1 名、魚類展示課 1 名計 2 名の正職員が定年退職（再任用）となり、更に、魚類展示課 1 名と海獣展示課 2 名の契約職員計 3 名が退職するため、将来へ向けての体制強化を考慮し、新型コロナウイルス感染症の終息状況を考慮し、タイミングをみて採用計画を検討してまいります。

---

## Ⅱ 事業の部

---

### 1. 公益事業

#### (1) 接客業務事業

##### ① 接客・接客業務体制

アクアメイト6名、接客補助契約職員3名、を合わせて合計9名体制で望みます。

##### ② アルバイト

新型コロナウイルス感染症の影響により、確保が非常に厳しい状況となっております。土曜、日曜、祝祭日、及びゴールデンウィーク、夏休み、春休み等、来場者が多く見込まれる多客日を中心に、雇用できるよう努力してまいります。

#### (2) 集客対策事業

集客対策事業については、次のとおり計画しますが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、アフターコロナに乗り遅れないよう準備を進め、期を失しないよう集客対策に努めてまいります。

##### 1) 送客誘致事業

##### ① 送客誘致事業

###### ◎ エージェントへの団体客誘致活動

- ・ 島根県、島根県観光連盟、各種協議会等が実施するエージェント招致事業等に参加し積極的な誘致活動を実施してまいります。
- ・ 島根県はもとより集客重点地域である山陽方面（広島、岡山）及び山口・愛媛・香川県のエージェントへの誘致活動を実施してまいります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、昨年度より修学旅行の利用が増加傾向にありますので、島根県東部をはじめ、中国地方、四国地方からも誘客できるよう努めてまいります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況にもよりますが、リモートを活用した営業、館内紹介を行い誘客に努めてまいります。
- ・ 島根県内の高速道路の延伸が進んできており、移動時間も短縮されてきている島根県東部・鳥取県西部へも積極的に送客誘致活動を実施してまいります。
- ・ 従業員の福利厚生活動として、広島・島根生協組合(25万人)、マツダ労働組合(約2万人)、及び私学共済(59.5万人)等への施設利用促進対策のほか、他の共済組合・団体等への積極的な送客誘致活動を実施してまいります。

##### ② 各種観光キャラバン等への参加

島根県、島根県観光連盟、浜田市、及び江津市観光協会等が実施する観光宣伝事業とタイアップし、積極的な訪問宣伝や街頭活動を実施してまいります。

### ③ 周辺施設と連携した魅力ある誘客対策

石見ツーリズムネット（2021年度予定：14施設加盟）などと連携し、魅力ある周遊型商品の開発、石見地方のご当地グルメ（神楽めし）開発などの取り組みにより島根県観光連盟、地元観光協会、及び地元行政等と協力を図り、石見地域への誘客を図ってまいります。

### ④ 島根県立しまね海洋館公式 SNS

2014年より開始した公式 facebook ページ、公式 instagram をはじめ、2020年10月より開始した公式 Twitter も活用し、旬な情報を提供するため引き続き実施してまいります。

## 2) 広告宣伝事業

親子（父：兄：妹）3頭によるパフォーマンスの実施、珍しいアカムツ（ノドグロ）の生体展示や充実した教育プログラム等を継続、広く内外に宣伝し更なるアクアスの魅力と楽しさを伝えてまいります。

また、次の重点期間・最重点地域を中心に電波媒体/紙媒体/インターネットを使い、広報や宣伝に努めてまいります

### ① 広報宣伝期間

#### ◎重点期間

- ・4月中旬～ゴールデンウィーク
- ・7月中旬～8月の夏休み期間
- ・冬休み期間及び年末年始
- ・閑散期から春休みに向う3月中旬～

#### ◎その他期間

- ・アクアスイベント計画及び周辺施設・地域イベントの実施に併せた相乗効果が期待できる時期・タイミングで実施してまいります。

### ② 広報宣伝地域

#### ◎最重点地域

- ・広島県及び岡山県を中心とする山陽方面。

#### ◎主要地域

- ・島根・鳥取(山陰エリア)及び山口・愛媛・香川方面。

#### ◎その他

- ・萩・石見空港の東京利用者の獲得のため関東エリア。

### ③ 主たる広告宣伝事業

#### ◎電波媒体広告（テレビ・ラジオ等）

- ・ゴールデンウィーク、夏休みを中心に広告展開を実施し、単にCM広告だけでなく、各放送局の情報番組や、放送局エリアでの街頭宣伝活動等とセットでのキャンペーン（パブ出演）を実施してまいります。（新型コロナウイルス感染状況による）

◎紙媒体広告（旅行雑誌・新聞等）

- ・山陰、山陽地区の有力なタウン情報誌、新聞を中心に集客時期を考慮して広告展開するとともに、割引クーポン、及び読者プレゼント等を付け、より積極的に来館促進に取り組んでまいります。

◎ネット媒体広告

- ・インターネットやSNSを利用した広告、宣伝を強化していきます。  
スマートフォン広告、Yahoo ディスプレイ広告を活用して最重点地域の子育て世代（20～40代女性）をターゲットに広告展開を実施してまいります。

3) 来場者対策事業

- ① 新型コロナウイルス感染症の対策として、お客様にはご入館前にサーモグラフィーによる体温測定、手指の消毒、緊急連絡先の記載をお願いし、館内では定期的な各所の消毒、3密にならないようお客様の誘導等を実施し、感染拡大防止に努めてまいります。
- ② アクアス広場への日除け大型テント設置（パフォーマンス待ち列対策、熱中症予防）
- ③ 中央広場への日除けテント設置（入館チケット購入待ち列対策）
- ④ 来館者サービス団扇制作。
- ⑤ GW等 多客日の対策として館内に警備員配置。
- ⑥ GW やお盆期間の超多客日に対応した受け入れ態勢の慎重な取り組み。
- ⑦ インバウンド対策として、2017年度に島根県において導入していただいた音声ガイドシステム及び外国語のパンフレットや自動翻訳機をフルに活用し、海外からお越しのお客様等に対して出来る限り不便を感じさせないよう対応してまいります。

4) 集客対策事業

- ① アクアス盛り上げよう委員会（AMI）の取り組み
  - ◎各課各係から横断的に募集した職員による「アクアス盛り上げよう委員会(AMI)」を組織し集客力の向上と、より豊かな水族館事業を実現するため、一過性のイベントだけでなく、アクアスの魅力が継続的に底上げされるようなイベントを計画実施してまいります。
- ② 年間パスポート購入数・利用数を増やすための対策事業の実施
  - ◎季節を問わずに当館を楽しんでいただき、アクアスのファンを拡大させるために、常連客層ともいえる年間パスポート保有者数（2020年12月末現在 1,093人）を増やす取り組みを継続します。
  - ◎平日に当館を利用していただく機会を増やすため「アクアス☆ゆったり親子の会」及びファンクラブ会員限定イベントなどを実施してまいります。
  - ◎令和2年度実績・・・「アクアス☆ゆったり親子の会」、「ファンクラブの日」

### (3) 水族収集・飼育・展示事業

生物の適正な収集を行い、生物の過ごしやすい環境をつくるため、飼育展示環境の適正な維持管理、及び飼育資機材の適正購入等を行います。

#### ① 生物の収集

◎シロイルカについて野生個体の導入は難しく、これまで搬出先であったロシアにおいても現在は厳しく制限されておりますが、血統管理、展示生物の確保の面から新たな血統は将来的に必須であり、新たな血統個体確保の可能性を探る観点から輸出先であったロシア太平洋水産研究所、及びロシア沿海州水族館との協力関係の構築に努めるとともに、国内の飼育園館とも良好な関係を堅持しながら協力関係を継続してまいります。

◎ペンギン類については、キタイワトビペンギンの入手が困難なため収集の機会を逃さないよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集を継続していきます。

また、オウサマペンギン、フンボルトペンギン、ジェンツーペンギンに関しては血縁関係により血統管理の面から国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集、交換などを積極的に行ってまいります。

◎カリフォルニアアシカについては、当館での繁殖を進めるとともに国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら交換など積極的に行ってまいります。

◎ゴマフアザラシについては、現在飼育している全ての個体は血縁関係にあり、現状では繁殖活動ができない状況であります。血縁関係のない新たな雌雄の個体の導入を進め、繁殖活動が実施できるよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集の機会を逃さないように努めてまいります。

◎展示生物については、近在の漁業協同組合、地元漁業者、活魚業者、他園館との連携を強め、引き続き良好な関係を堅持しながら水生生物の収集に努めてまいります。

#### ② 生物の飼育

◎飼育生物の体調管理、環境管理に留意し健全な飼育に努めてまいります。

#### ③ 生物の繁殖

◎飼育生物の健全な繁殖を目指し飼育環境の整備に努め、種の保存に貢献してまいります。

◎魚類展示課担当生物においては、(公社)日本動物園水族館協会の繁殖賞を5種の生物について受賞しており、種の保存事業に大きく貢献しているところであり、他飼育生物についても更に飼育環境を整え1種類でも多く自家繁殖ができるよう繁殖技術の確立を目指してまいります。

◎2014年以來シロイルカの繁殖がないため積極的に取り組み、シロイルカの繁殖技術の確立を目指してまいります。

◎2020年2月28日に生まれたゴマフアザラシ(愛称:だいふく)は順調に成長しております。今後は新たな血統の導入を進めゴマフアザラシの繁殖を積極的に進めてまいります。

◎2020年7月30日に生まれたカリフォルニアアシカ(メス、愛称:ニコ)は順調に成長しております。今後もカリフォルニアアシカの繁殖に積極的に取り組み、繁殖技術の確立を目指してまいります。



◎ペンギン類について、順調に増えている種に関しては、当館のみの飼育数の増加だけでなく他園館との連携をとり、積極的に交換やブリーディングローンを実施し繁殖が促進されるよう環境を整えるなどして国内全体としての種の保存に努めてまいります。また、オウサマペンギンは既に国内の他園館と連携しブリーディングローン等により繁殖推進の取り組みを実施し、結果も出ており、今後も更なる努力をしてまいります。

#### ④ 生物の調査・研究

◎島根県隠岐の島の固有種であるオキサンショウウオ、及びオキタゴガエルの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指し域外保全に努めてまいります。

◎島根県指定希少野生動植物であるミナミアカヒレタビラの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指してまいります。

◎ウミガメ・鯨類・鰭脚類等のストランディング(野生生物の漂着)の調査。

◎ウミガメの上陸、産卵調査。

◎島根県西部における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査。

◎日本獣医生命科学大学の飼育下魚類の病理組織学的研究に検体の提供協力を行ってまいります。

◎長崎大学海洋未来イノベーション機構の次世代養殖戦略会議と連携し、試料生物の提供協力を行ってまいります。

### (4) 学習交流事業

#### 1) 教育事業

##### 《ボランティアの育成・支援事業》

当館のボランティア組織「アクアサポーター(2020年12月末現在36人)」は、館内解説や教育事業の支援を主体とした活動を行なっております。主催事業の補助のほかに、自主活動の計画立案と実施を行える環境を整え、積極的な活動を促します。また、他組織の視察や、水生生物に関する研修を企画し、活動の質を高めると共に、得られた知見を自主事業として反映させられるよう支援してまいります。さらに、一定の要件を満たした活動においては昼食等を支給し、活動しやすい環境の充実に努めてまいります。

また、引き続き新規アクアサポーターの募集及び研修を行い、登録希望者は通年で受け入れてまいります。

##### 《企画運営事業》

#### ① 各種教育活

◎学校団体等(子供会・他団体含む)来館時のプログラム実施

◎環境教育プログラムの実施(総合的な学習の時間に対応)

◎体験学習・教育実習等の受け入れ

◎学校と連携した出張講座や移動水族館の実施

◎幼稚園・保育園等と連携した幼児教育への取り組み

◎特別支援学校等と連携した教育委活動への取り組み

◎地域の環境教育活動の支援

◎各種主催事業の企画・実施

◎ESD実践拠点施設としての啓発・実践活動

## ② 各種教育プログラムの作成及び情報発信

- ◎主催事業（体験スクール等）の告知、集客用ポスター、チラシ等の作成、配布。
- ◎学習プログラム紹介の作成、配布。
- ◎学校教育利用支援のため県内小学校、中学校へ訪問。
- ◎しまね海洋館活動報告書(年報)の作成、配布。
- ◎しまね海洋館機関誌「神話の海から」の作成、配布。
- ◎島根県自然系ミュージアム等との連携。
- ◎県内社会教育施設や団体（美術館、科学館、教育委員会等）との連携。
- ◎各種教育研修会への参加。
- ◎各種教材の開発。
- ◎県西部の環境教育指導者の育成とネットワーク構築、活動の場の提供。

## ③ 教育用備品・消耗品の作成・購入

- ◎オリジナルカンバッチ等、教育イベント宣伝物の作成。
- ◎出張講座等教育プログラム用解説パネル等の作成及び備品の購入。
- ◎教育活動用図書及び図書コーナー蔵書の購入。

### ≪主催スクール事業≫

- |                       |    |                    |
|-----------------------|----|--------------------|
| ① アクアス体験スクール(継続)      | …… | 夏休みを除く月 1～2 回      |
| ② わんぱく探検隊(継続)         | …… | お盆期間を除く夏休み期間       |
| ③ サマースクール(継続)         | …… | 夏休み期間に 3～4 回程度     |
| ④ ハガキに描こうアクアスの海(継続)   | …… | 11 月～(募集) 2 月～(展示) |
| ⑤ みんなの知らないアクアスツアー(継続) | …… | 1 月～2 月            |

## 2) 地域交流事業

### ① 地域交流イベントの実施を予定しております。

◎例年アクアス春祭りとして開催していた地域交流イベントの開催は、各自治体や商工会等が同日に同様の地域振興イベントを開催していることも多く、参加店舗の募集に支障をきたすこともあり、別の時期・別の形として見直しも必要と考えております。

県外から多くの来館者があることは当館としての強みでもあり、石見地方の魅力を県外の方に発信するためのイベントを計画してまいります。

### ② 各種地元振興イベントへの支援

#### ◎地域振興イベント協賛負担金

- ・江の川祭り
- ・浜っ子祭り
- ・はっしー広場イベントステージへの協賛（石見神楽の上演経費など）

### ③ 各種減免週間への対応

児童福祉週間、敬老週間、障がい者福祉週間の対象者無料開放を行ってまいります。

#### ④ アクアファンクラブ会員への対応

「アクアファンクラブ」会員を対象に、当館主催スクールの告知や会員限定スクールを実施します。アクアスのファンを増やし、愛される施設を目指すと共に、ファンクラブ会員の増加を図ってまいります。

◎機関誌「神話の海から」進呈

◎アクアス体験スクール等の案内（今年度より WEB 配信）

◎会員限定のスクール開催

◎ファンクラブの日制度（毎月 10 日）

◎来館スタンプカード進呈（アプリ対象、オリジナルグッズプレゼント）

#### ⑤子育て支援事業への取り組み

◎未就学児を中心とした子育て家族を支援するためのイベント開催  
（アクアス☆ゆったり親子の会）

### 3) 特別企画展事業

水族館は、展示内容の変更が容易でないという性格上、特別企画展を計画的に開催し、展示に魅力と変化をもたせております。また、単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源の保護などの学習要素を多く取り入れた内容にも取り組んでまいります。

また、2022 年度特別展の計画を立てると共に、2021 年度中に準備調査も併せて、実施してまいります。

#### ◀開催予定▶

① 前年度からの継続特別展 『闘魚～美しきベタの世界～』

2021 年 3 月 10 日（水）～5 月 10 日（月）

② 第 1 回特別展 『妖海屋敷 PART2』（仮）

2021 年 7 月～9 月

③ 第 2 回特別展 『写真展』（仮）

2021 年 11 月 ～ 2022 年 1 月（予定）

④ 第 3 回特別展 『うんち展』（仮）

2022 年 3 月（春休み）～ 5 月（予定）

### (5) 施設管理事業

#### 1) 光熱水費管理

しまね海洋館は 2004 年 3 月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」に基づく第 2 種エネルギー管理指定工場に指定され、エネルギー管理員の選任及び毎年の定期報告が義務づけられています。

エネルギー（電気・ガスなど）の使用に関して適切な管理を行うと共にエネルギー効率の向上をめざす中で館内照明等の LED 化を進めておりますが、現状では 30%程度の導入であります。

今後も最適な機器の選定、及び運用を考え LED 化を含め島根県と連携して省エネ機器の積極的な導入、機械設備の効率的な稼働を行い、省エネルギーを目指し管理に努めてまいります。

## 2) 設備メンテナンス

水族館の飼育設備は、飼育生物の生命に直結する重要なものであり、空調、照明、展示情報、清掃などの施設管理は来館者の安全と満足度を高めるため重要なものです。

しかし、水族館の設備は海水を使用するため機器の経年劣化が激しく、塩害により耐用年数は短くならざるを得ない状況にあり、これまでのノウハウを生かしつつ、日常のメンテナンスを適切に実施し、より効率的かつ安全な管理を行ってまいります。

### 《主なメンテナンス項目》

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ① 設備管理保守点検          | ② 清掃及び環境衛生管理 |
| ③ 中央監視装置・自動制御機器保守点検 | ④ 昇降機設備保守点検  |
| ⑤ 海水取水施設保守点検        | ⑥ 熱源設備点検清掃   |

## 3) 維持工事・修繕事業

① 2013年度島根県において、施設の長期的な保全と利用者の安全を図るために、「長寿命化計画」が策定されました。実施期間である2014年度から2033年度までの、20年計画（計画事業費約63億円）に適切に対応し、施設の維持管理に努めてまいります。

② オープンから20年以上が経過し、館内の設備、及び建物の経年劣化が各所に見られ、2010年度から緊急対応修繕費を、設置者である島根県において実費精算することとなり、計画的に改修計画を立て、万全を期してまいります。

また、突然の故障の際には柔軟な対応を行い、来館者及び生物への影響を最小限にとどめる努力を行ってまいります。

## 4) 消防防火等緊急時への対策

2014年8月より、建物全体が防火対象物16項イ（消防法第8条第1項及び消防法施行令第1条）に分類されました。施設の防火対策と避難訓練など、適切に対応し、来館者の安全を第一にした取り組みを行ってまいります。

また公園、及び館内で従事する他社も含めた全スタッフに救命救急講習の受講を実施し、設置しているAEDと併せ、緊急時に救命活動がおこなえる知識と技術を身につけ、迅速かつ適切な対応ができるよう致してまいります。

## 2. 収益事業

入館者の便益を図るとともに、公益事業等で水族館運営事業の一部を財源確保するために適切な収益事業を行ってまいります。

- ① 飲料自動販売機・プリクラ機の運営管理
- ② ロゴマーク、キャラクターのロイヤリティーの管理
- ③ オリジナルフィギュア、既存フィギュアの販売及び、クレーンゲーム など